



WISECURE (Securing Cisco Wireless Enterprise Networks)

前提条件

このコースでは、以下の基本的な知識があることが推奨されます

- Cisco Prime Infrastructure
- Cisco ISE
- Metageek Channelizerソフトウェア
- 音声シグナリングプロトコル
- QoSの基礎
- アプリケーションの可視化と制御(AVC)
- LANスイッチング

受講対象者

- CCNP Wireless認定の取得を目指す方
- ネットワークエンジニア
- ネットワーク管理者
- ネットワーク設計者
- システムエンジニア

概要

Securing Cisco Wireless Enterprise Networks (WISECURE) v1.1は、インストラクタによる5日間のトレーニングで、シスコのワイヤレスネットワークを保護するための情報を受講者に提供します。このコースでは、Ciscoワイヤレスコンポーネントの適切な設定によるWi-Fiセキュリティアーキテクチャの実装に関するガイドラインを示します。WISECUREは、学生に実践的なラボを提供してコンセプトを強化しています。コンセプトには、Cisco AireOS 8.0、Cisco Prime Infrastructureリリース2.2、およびCisco Identity Services Engineリリース1.3の機能の導入が含まれます。

外国人講師による英語の講義です。

目的

このコースを修了すると次のことができるようになります。

- Wi-Fi設計におけるセキュリティアプローチを定義する
- エンドポイントとクライアントのセキュリティ設計と実装方法を理解する

Wi-FiネットワークにおけるISEの設計と実装方法を理解する
Wi-Fiインフラストラクチャのセキュリティを強化する
Wi-Fiアクセスコントロールの設計と実装方法を理解する
Wi-Fi環境の管理と監視の機能を理解する

アウトライン

モジュール1：Wi-Fi設計におけるセキュリティアプローチの定義
レッスン1-1：Wi-Fiデザインにおけるセキュリティエリアの定義
レッスン1-2：Wi-Fi設計におけるセキュリティアプローチの説明

モジュール2：エンドポイントとクライアントセキュリティの設計と展開
レッスン2-1：エンドポイントとクライアントの標準と機能の定義

モジュール3：Cisco ISEおよび管理プラットフォームの設計および展開
レッスン3-1：Ciscoネットワークセキュリティのアーキテクチャ
レッスン3-2：プロファイルとポリシー
レッスン3-3：ゲストへのアクセス
レッスン3-4：安全なBYOD

モジュール4：安全なWi-Fiインフラストラクチャ
レッスン4-1：エンドポイントとクライアントの標準と機能の定義

モジュール5：Wi-Fiアクセス制御の設計と展開
レッスン5-1：Wi-Fiアクセスコントロールの標準と機能の定義

モジュール6：監視機能の設計と展開
レッスン6-1：Wi-Fiにおける脅威と干渉の緩和アプローチの定義

ラボの詳細：

ガイド付きラボ1：WPA2アクセスの設定
ガイド付きラボ2：802.1Xアクセスの設定
ディスカバリ1：Cisco ISEの概要
ガイド付きラボ3：RADIUS統合の設定
ガイド付きラボ4：基本的なアクセスポリシーの構成
ガイド付きラボ5：ホットスポットゲストアクセスの設定
ガイド付きラボ6：CWAと自己登録ゲストオペレーション
ディスカバリ2：SNMPv3の実装
ディスカバリ3：シスコMFPの設定と確認
ディスカバリ4：不正なAPの監視とルール
ガイド付きラボ7：セキュリティで保護された管理アクセスの構成
ガイド付きラボ8：APの基本認証ポリシーの構成
ガイド付きラボ9：プロファイリングの実装
ガイド付きラボ10：プロファイリングとデバイスのオンボーディング
ガイド付きラボ11：Cisco ISEプロファイリングレポート
ガイド付きラボ12：ゲストレポート

- ガイド付きラボ13：ライブログとクライアント360°ビュー
- ガイド付きラボ14：セキュリティレポートの操作
- ガイド付きラボ15：システムセキュリティ検証ツールの使用